



平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月10日

上場会社名 株式会社レイ 上場取引所 東
 コード番号 4317 URL http://www.ray.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)分部 至郎
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 (氏名)牧田 渉 (TEL)03(5410)3861
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年8月31日)
 (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	5,321	15.9	161	△14.7	142	△21.2	41	△55.4
26年2月期第2四半期	4,591	△14.0	189	△61.8	181	△61.1	92	△62.7

(注) 包括利益 27年2月期第2四半期 35百万円(△61.7%) 26年2月期第2四半期 93百万円(△62.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	3.25	3.23
26年2月期第2四半期	7.28	7.23

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第2四半期	8,467	2,952	34.6
26年2月期	7,870	2,979	37.6

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 2,929百万円 26年2月期 2,956百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	5.00	5.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,800	4.2	580	△16.8	530	△17.9	280	△17.4	21.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規2社(社名)株式会社ニッポンムービー、株式会社ニッポンムービー大阪
除外2社(社名)株式会社ウイズ・ブレーション、マックレイ株式会社

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年2月期2Q	14,328,976株	26年2月期	14,328,976株
27年2月期2Q	1,567,962株	26年2月期	1,573,962株
27年2月期2Q	12,757,041株	26年2月期2Q	12,753,014株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、大企業を中心に企業収益の改善を背景とした設備投資の増加、雇用や賃金の持ち直し等の動きも見られましたが、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響を受け、個人消費が停滞する等、景気の回復基調には鈍化がみられ、先行きにつきましては不透明な状況で推移しております。

当社グループの主要な市場である広告業界におきましても、市場は緩やかな回復基調で推移しておりますが、前述のような経済環境の影響を受け、市場の先行き不透明感が強まっております。

このような経済、市場環境のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、受注が堅調に推移したことや平成26年3月1日付で株式会社ニッポンムービーの株式を取得し、株式会社ニッポンムービー及びその子会社4社を新たに連結子会社としたこと等により売上高は5,321百万円（前年同期比15.9%増）となりましたが、受注が堅調に推移していることに伴い機材関連の投資を積極的に行っていることや、イベント事業本部の東京事業所移転費用及び(株)ニッポンムービーの事業所移転費用が発生したこと等により販売費及び一般管理費が増加したため、営業利益は161百万円（同14.7%減）、経常利益は142百万円（同21.2%減）、四半期純利益は41百万円（同55.4%減）となりました。

当社グループのセグメントの業績は次のとおりであります。

広告ソリューション事業におきましては、S P（セールスプロモーション）・イベント部門、TVCM（テレビコマーシャル）部門ともに、市場環境が緩やかながら回復傾向にあることや(株)ニッポンムービーが連結対象となったことから売上高は前年同期を上回りましたが、価格競争の激化やコスト上昇の影響、(株)ニッポンムービーの移転費用が発生した事等の要因により、売上高は2,593百万円（同19.6%増）、営業利益は107百万円（同2.7%減）となりました。

テクニカルソリューション事業の映像機器レンタル部門、ポストプロダクション部門におきましても、市場環境の緩やかな回復状況を受け売上高は堅調に推移いたしました。映像機器レンタル部門で積極的な設備投資を進めたことや東京事業所の移転費用が発生したこと等により、売上高は2,727百万円（同12.6%増）、営業利益は361百万円（同7.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態の状況

(資産)

流動資産は前連結会計年度末に比べて399百万円増加し4,978百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加433百万円、売掛金の減少188百万円、たな卸資産の増加173百万円によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べて197百万円増加し3,489百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の増加117百万円によるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて597百万円増加し8,467百万円となりました。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べて721百万円増加し4,176百万円となりました。主な要因は、買掛金の増加376百万円、短期借入金金の増加300百万円、未払法人税等の減少174百万円、未払金の増加181百万円によるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べて97百万円減少し1,339百万円となりました。主な要因は、長期借入金金の減少80百万円によるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて624百万円増加し5,515百万円となりました

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて27百万円減少し2,952百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の減少22百万円によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前連結会計年度末に比べて433百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末は1,445百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は677百万円(前年同期比35.8%増)となりました。

主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益の計上141百万円、減価償却費の計上274百万円、売上債権の減少363百万円、仕入債務の増加300百万円であり、主な減少要因は、たな卸資産の増加147百万円、法人税等の支払額225百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は103百万円(同11.1%減)となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出126百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は140百万円(前年同期は144百万円の増加)となりました。

主な増加要因は、長短借入金の借入額(純額)120百万円であり、主な減少要因は、リース債務の返済による支出199百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期の連結業績予想につきましては、平成26年4月15日に公表しました業績予想に変更はありません。

※ 上記予想は、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、平成26年3月1日をもって当社の連結子会社でありました株式会社ウィーズ・ブレン及びマックレイ株式会社は、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

また、第1四半期連結会計期間において、株式会社ニッポンムービーの株式を新たに取得し、それに伴い、当該会社の子会社である株式会社ニッポンムービー及び株式会社ニッポンムービー大阪他2社を含む合計5社が、当社の連結子会社となりました。(当該5社のうち、当社の孫会社である株式会社ニッポンムービー及び株式会社ニッポンムービー大阪は特定子会社に該当します。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,012,485	1,445,905
受取手形	262,809	209,161
売掛金	2,618,090	2,429,130
たな卸資産	335,839	509,649
繰延税金資産	180,195	161,259
前払費用	99,084	103,802
その他	79,842	130,033
貸倒引当金	△9,465	△10,343
流動資産合計	4,578,880	4,978,598
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	700,876	774,809
減価償却累計額	△159,091	△146,894
建物及び構築物(純額)	541,784	627,914
機械装置及び運搬具	936,589	974,768
減価償却累計額	△724,010	△730,337
機械装置及び運搬具(純額)	212,578	244,431
工具、器具及び備品	251,239	280,668
減価償却累計額	△204,238	△219,402
工具、器具及び備品(純額)	47,001	61,266
土地	1,109,883	1,109,883
リース資産	1,394,707	1,538,985
減価償却累計額	△499,424	△658,604
リース資産(純額)	895,283	880,380
有形固定資産合計	2,806,531	2,923,875
無形固定資産		
ソフトウェア	48,592	51,553
のれん	—	24,717
その他	7,639	7,619
無形固定資産合計	56,231	83,890
投資その他の資産		
投資有価証券	162,277	202,745
出資金	5,637	3,588
長期貸付金	11,318	11,318
破産更生債権等	34,210	34,980
長期前払費用	3,921	8,230
敷金及び保証金	166,359	211,541
保険積立金	49,473	49,473
繰延税金資産	37,240	1,917
その他	900	900
貸倒引当金	△42,379	△43,148
投資その他の資産合計	428,961	481,548
固定資産合計	3,291,724	3,489,314
資産合計	7,870,604	8,467,913

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	704,703	1,081,448
短期借入金	1,400,000	1,700,000
1年内返済予定の長期借入金	194,134	160,800
リース債務	356,510	390,909
未払法人税等	223,010	48,021
賞与引当金	194,033	199,044
未払金	197,544	378,988
未払消費税等	69,382	55,489
未払費用	54,595	63,189
預り金	16,656	17,119
その他	44,045	81,453
流動負債合計	3,454,616	4,176,463
固定負債		
長期借入金	818,700	738,300
リース債務	588,976	541,650
その他	28,847	59,334
固定負債合計	1,436,523	1,339,284
負債合計	4,891,140	5,515,748
純資産の部		
株主資本		
資本金	471,143	471,143
資本剰余金	473,833	474,175
利益剰余金	2,269,183	2,246,819
自己株式	△270,627	△269,596
株主資本合計	2,943,532	2,922,542
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,425	4,303
為替換算調整勘定	10,218	2,908
その他の包括利益累計額合計	12,644	7,212
新株予約権	23,287	22,411
純資産合計	2,979,464	2,952,165
負債純資産合計	7,870,604	8,467,913

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	4,591,461	5,321,298
売上原価	3,151,696	3,688,206
売上総利益	1,439,764	1,633,092
販売費及び一般管理費	1,250,591	1,471,668
営業利益	189,173	161,424
営業外収益		
受取利息	44	18
受取配当金	1,913	3,528
保険解約返戻金	-	5,359
その他	9,100	4,578
営業外収益合計	11,058	13,485
営業外費用		
支払利息	14,842	13,098
出資金運用損	2,470	15,968
その他	1,558	2,853
営業外費用合計	18,871	31,920
経常利益	181,360	142,989
特別利益		
固定資産売却益	30	305
新株予約権戻入益	10,338	438
特別利益合計	10,368	743
特別損失		
固定資産除却損	0	1,984
減損損失	-	466
特別損失合計	0	2,451
税金等調整前四半期純利益	191,728	141,281
法人税、住民税及び事業税	63,269	45,924
法人税等調整額	35,604	53,946
法人税等合計	98,873	99,870
少数株主損益調整前四半期純利益	92,855	41,410
四半期純利益	92,855	41,410

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	92,855	41,410
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,140	1,878
持分法適用会社に対する持分相当額	-	△7,309
その他の包括利益合計	1,140	△5,431
四半期包括利益	93,996	35,978
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	93,996	35,978
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	191,728	141,281
減価償却費	228,870	274,239
減損損失	-	466
のれん償却額	-	2,746
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,311	△1,525
賞与引当金の増減額(△は減少)	△64,709	5,010
受取利息及び受取配当金	△1,957	△3,547
支払利息	14,842	13,098
出資金運用損益(△は益)	2,470	15,968
新株予約権戻入益	△10,338	△438
保険解約損益(△は益)	-	△5,359
固定資産売却損益(△は益)	△30	△305
固定資産除却損	0	1,984
売上債権の増減額(△は増加)	302,459	363,373
たな卸資産の増減額(△は増加)	△140,504	△147,011
仕入債務の増減額(△は減少)	△17,996	300,537
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△83,829	△45,474
その他の流動負債の増減額(△は減少)	34,811	△7,763
その他	△2,349	△4,735
小計	451,157	902,545
利息及び配当金の受取額	1,948	7,520
利息の支払額	△14,195	△12,915
保険解約返戻金の受取額	-	5,359
法人税等の支払額	△43,677	△225,225
法人税等の還付額	103,607	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	498,840	677,284
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△81,126	△126,577
有形固定資産の売却による収入	36	643
資産除去債務の履行による支出	△33,639	△1,498
ソフトウェアの取得による支出	△19,611	△24,411
出資金の払込による支出	△22,270	△15,416
出資金の回収による収入	4,950	9,482
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	73,155
敷金及び保証金の差入による支出	△2,533	△22,174
敷金及び保証金の回収による収入	43,586	2,817
その他	△5,800	534
投資活動によるキャッシュ・フロー	△116,407	△103,445

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	6,300,000	6,800,000
短期借入金の返済による支出	△5,800,000	△6,500,000
リース債務の返済による支出	△149,928	△199,294
長期借入金の返済による支出	△130,400	△179,150
ストックオプションの行使による収入	-	936
配当金の支払額	△75,254	△62,909
財務活動によるキャッシュ・フロー	144,416	△140,418
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	526,849	433,420
現金及び現金同等物の期首残高	731,676	1,012,485
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,258,525	1,445,905

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	広告ソリューション事業	テクニカルソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,168,908	2,422,552	4,591,461	—	4,591,461
セグメント間の内部売上高又は振替高	125	125,231	125,356	△125,356	—
計	2,169,033	2,547,784	4,716,817	△125,356	4,591,461
セグメント利益	110,031	335,001	445,033	△255,859	189,173

(注) 1 セグメント利益の調整額△255,859千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	広告ソリューション事業	テクニカルソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,593,382	2,727,916	5,321,298	—	5,321,298
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,030	130,076	131,106	△131,106	—
計	2,594,412	2,857,993	5,452,405	△131,106	5,321,298
セグメント利益	107,076	361,384	468,461	△307,037	161,424

(注) 1 セグメント利益の調整額△307,037千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。